

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール四日市		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚調整遊具を用いた身体に対してのアプローチだけではなく、言葉や社会性などいろいろな課題に取り組める事業所である。	職員がいろいろな研修に参加し、学んだことを共有することで、偏った療育ではなく多角的な視点から考えてプログラムや計画を作成している。	課題が出るたびに改善を重ね、より良い支援方法を提供している。
2	マニュアルではなく、個別のプログラムでその時々のお子さまの興味関心に合わせた支援で柔軟に対応している。	セッション中のお子さまの姿や自由遊び、保護者様からのお話の中で、お子さまの好きなことや夢中になっていることと、さらに取り組みたい事との組み合わせで、楽しみながら自然に成長できる工夫をしている。	20ヵ所以上あるSEDスクールで行われている支援内容を共有し、自校に合った方法に変えて取り入れる事ができる。
3	担当制ではないので、職員全員でいろいろな視点から考えることが出来、より最善の支援を行うことが出来る。	カンファレンスのやり方やアセスメントツールをその都度改善して利用している。	本部の心理師や作業療法士に意見を求めて実際の支援に活かす仕組みを活用している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用を待って頂いている方がいる為、必要として頂いている方への療育を提供できていない。	希望頂いている利用者様の数と、受け入れられる数が見合っていない。	必要として頂いている方への療育を提供するために、さらに人材の確保を行っていきたい。
2	多機能型の事業所ではない為、小学校以降の支援ができない。	異年齢での受け入れとなると、遊具の配置や時間帯などの工夫が難しい。	設備や広さの問題があり、放課後等デイサービスの提供を行っていく。
3	一日定員10名という枠が限られている。	法令遵守の前提があるので、予約の段階から定員を超えての受け入れはできない。	空き枠やキャンセルが出たら、待機して頂いている方へご案内をするが、さらに速やかに利用できる仕組みを考えていきたい。